



PTA新聞

ふくおかけん

県P連電子メールアドレス info@fukuokakenpta.gr.jp 県P連ホームページアドレス http://www.fukuokakenpta.gr.jp

発行所/福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人/松尾 和昭
編集/広報委員会



福岡県PTA連合会 令和3年度活動方針

時を刻む 学びと交流

子どもたちのために協働的活動を

新型コロナウイルス感染症の不安が残る中、福岡県PTA連合会(県P)の令和3年度活動方針が決まりました。「総会を開く社会情勢にはない」として、議案書を単位PTAなどに送付し、議案ごとに委任状、あるいは書面で賛否を判断していただくという昨年に続いての方法での決定です。【2、3面に関連記事】

会長には松尾和昭さん(八女市立福岡中学校PTA)が再任されたのをはじめ、新年度役員が決まりました。「社会教育関係団体と

「いつづつ前に進み、今を大切に、未来へ希望を抱き、足跡を

う」この基本方針です。具体的な取り組みとして、スマホ、インターネットのツールに関する研修会の開催や「新」家庭教育宣言の継続などが決定されました。

スローガンに盛り込んだ「時を刻む」という言葉には、「時計の針のようにいつづつ前に進み、今を大切に、未来へ希望を抱き、足跡を刻んでいきたい」との思いが込められていま

副会長の皆さん

2面に抱負

- 川原未絵
- 佐藤剛史
- 野村賢太郎
- 古賀大介
- 倉地宏治
- 金本恭幸
- 金光 功
- 廣瀬 啓
- 清原龍彦
- 香月まゆみ
- 藤野 勇
- 鬼頭良典

副会長12人と理事16人、監事2人が選任されました。総額4812万5634円の一般会計予算案と保険特別会計予算が書面による手続きで承認されました。「スマホ等を持たせた以上、管理と責任は保護者が負います。スマホ等の上手な使い方を大人が学びます。家庭内での対話や団らんを優先します」とのスマホ宣言も採択されました。松尾会長は「保護者同士、学校と保護者、地域、企業、行政、各種団体、社会体育が協力し、子どもたちのために時を刻む、学びと交流を大切にしたい」との思いを込めて、今年度の活動方針を決定しました。

昨年度はコロナウイルス感染症拡大により、PTA会員の皆さまにおかれましては大変不安な日々を過ごされたかと存じます。福岡県PTA連合会(県P)としても多くの事業などの中止、また開催方法の変更などを余儀なくされました。しかし、多くの単位PTAの方々の県Pに対するご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝いたしております。誠にありがとうございました。



福岡県PTA連合会会長 松尾 和昭

私は昨年度、会長という身に余る大任を任せていただき、改めて私たちPTAとほどのような団体なのか、社会教育関係団体とは何かなど、より深く学ばせていただく良い機会に、また多くの会員の方々

希望を抱き、足跡を刻んでいきたいという思いが込められています。また、「学び」では、私たちはこの数年さまざまな聞きなれない言葉を耳にすることが多くなってきました。例えば、ギガスクール構想やICT教育など数えれば多くの言葉が私たちの周りに存在します。これは子どもたちも同様です。子どもたちは将来への成長のため、学校などを通じて今から多くのことを学んでいきます。同時に私たち大人も学んでいく必要性を強く感じています。「交流」では、子どもたちを中心に考

えると色々な交流があります。保護者同士、学校と保護者、地域、企業、行政、各種団体、社会体育その他、多くの交流が必要となります。その中でも多くの方がまず、保護者同士をイメージされるのではないのでしょうか。子どもたちの成長を支えていくうえで、保護者同士の交流は欠かせません。子どもたちの成長を互いに喜び、励まし、慰めあう、また相談するなど交流が成しえる力だと考えています。保護者と先生についても同じです。そして保護者と先生との交流の中には、連携も欠かすことができません。県内各地より多くの役員・理事・委員の方々が熱い思いを胸に、県Pに参加されています。私自身も昨年の経験を

県P新執行部スタート 2、3面 広報紙コンクール 4、5面

福岡県PTA連合会スマホ宣言

「親子の対話、大人の学び」

スマホ等（タブレットやゲーム機、テレビを含むネット端末）の存在は社会生活の中で必要不可欠なものになっています。

その便利さの反面、ネット依存やトラブル等も数多く発生し社会問題になっています。

悲しい出来事を防ぎ、心と体の健康を保護していくためにも、私たち大人が「保護者」としての、監督責任について自覚すると同時に、学ぶ必要があります。

そのために、PTAや学校・地域などで開催される、研修会や講演会等へ積極的に参加し学び、家庭でのルールを子どもたちと対話しながら作成し、より良い家庭環境を築くよう努める事が大切です。

宣言

- 一、 スマホ等を持たせた以上、管理と責任は保護者が負います。
- 一、 スマホ等の上手な使い方を大人が学びます。
- 一、 家庭内での対話や団らんを優先します。

以上、子どもたちを守るために私たちはここに宣言します。

令和3年6月5日
福岡県PTA連合会

役職	ブロック等	区・市・郡	所属校	氏名
会長	南 筑 後	八女市	福島中	松尾 和昭
	北 筑 後	うきは市	浮羽中	川原 未絵
	北 筑 後	小郡三井区	宝城中	廣瀬 啓
	北 筑 後	小郡三井区	のぞみが丘小	清原 龍彦
	北 九 州	遠賀郡	島門小	香月まゆみ
	北 九 州	直方市	直方東小	藤野 勇
	京 築	行橋市	仲津小	鬼頭 良典
	福 岡	糸島市	福吉小	佐藤 剛史
	北 筑 後	久留米市	良山中	野村 賢太郎
	南 筑 後	柳川市	柳城中	古賀 大介
	北 九 州	直方市	福地小	倉地 宏治
	筑 豊	田川市	中央中	金本 恭幸
	京 築	豊前市	宇島小	金光 功
副会長	福 岡	宗像区	福岡小	久保 貴弘
		糟屋区	須恵第二小	古泉 慎也
	北 筑 後	朝倉市	馬田小	窪山 晶則
		久留米市	川会小	古賀 秀美
	南 筑 後	筑後市	水田小	宮原 章史
		大川市	宮前小	田中 幸道
	北 九 州	遠賀郡	芦屋中	小野 哲郎
		鞍手区	小竹西小	宮嶋 亮
	筑 豊	飯塚市	大分小	鈴木 力和
		嘉麻市	碓井中	田中 眞美
	京 築	京都郡	豊津中	大崎 一貴
		築上郡	上毛中	茂森 慶太
	母親代表	糸島市	福吉小	松尾菜美子
		筑後市	松原小	星野美由紀
	校長会	朝倉郡	三並小	井手 富孝
筑紫区		大野東中	岩野 展夫	
監事	南 筑 後	筑後市	古川小	野田 芳彦
	筑 豊	飯塚市	穂波東小	塩川 辰郎

福岡県PTA連合会事務局	〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号 福岡県吉塚合同庁舎5階 Tel.(092)643-7766 Fax.(092)643-7767
	【事務局長】 稲尾 茂 【事務局次長】 城戸みゆき 【事務局職員】 奥 真由美

会務 鬼頭 良典

「すべては子どもたちのために」。子どもたちの健全な成長は誰もが願っていることです。その願いに応えられる活動を展開していきます。こういふ状況だからこそ見直すべきところは見直し、新たなことに挑戦していける環境づくりをしていきたいと思えます。自らの役割と責任を自覚して取り組んでいきます。

会務 藤野 勇

昨年から学校や家庭の生活環境が大きく変わってしまいました。できないことも多くありますが、できることを見つめる。コロナのせいにならず、コロナのおかげで成長できたと思える心。そういった目標をPTAから発信していきたいです。

会務 香月まゆみ

いただいた縁に感謝し、つなげることを第一に考えます。そして、何事も初心を忘れず、新しいことにも挑戦したいです。コロナ禍で、全てをあきらめるのではなく、できることを見つけ、子どもたちの笑顔がもっと見られるように、仲間と力を合わせ活動していきたいです。何より、私自身楽しんでいきます。

会務 清原 龍彦

子どもたち、学校、家庭の環境が変わっていく中で、PTAのあり方も変わっていく必要があります。色々なPTAの活動の情報を得ることで、自分たちに適したPTAを作り上げることができると思っています。県PTA連合会として多くの情報を発信できるよう努めてまいります。「子どもたちの笑顔のため」。

会務 廣瀬 啓

今年度も、パット(P)楽しく(T)集まろう(A)とはいかない状況が続いていますが、時代や状況に合わせて、県Pの活動も意味や意義を考えながら変化していく必要があります。福岡県の子どものため、そして私たちの学びのために、6年目の今年も引き続き尽力していきたいと思えます。

会務 川原 未絵

学校・家庭・地域の環境の変化は大きく、今後も、できることをできるカタチで、一步一步、進めていかなければなりません。環境変化に応じた対策・学びを、親として、子に、今、何を伝え、どのように心を育くみ、思いをつなげていくかを、皆さまと共に考え活動してまいります。ピンチもチャンスに変えて、歩んでいきます。

副会長12人が抱負 「人のために闘う」ことを学ぶ／子どもたちの安全、安心のために／変化していく

京築ブロック 金光 功

感染症の影響により教職員の皆さま、保護者の皆さま、何よりも子どもたちが不安な日々を過ごしていることと思います。地区Pといたしましては、県Pと単Pの情報共有の橋渡しを行ない、円滑にPTA活動ができるよう努めてまいります。何よりも単Pの活動が重要です。子どもたちの安全、安心のため頑張ります。

筑豊ブロック 金本 恭幸

コロナウイルス感染拡大により、学校や家庭での生活に大きな影響が出ています。日常生活にさまざまな制限がありますが「今できること」を考え、皆さんと一緒に活動していきたいと思っています。1年間よろしくお願ひします。

北九州ブロック 倉地 宏治

令和時代になり、社会の在り方や働き方が変化し、子どもたちの生活環境、内面性、価値観が変化しています。保護者・学校・地域との横のつながりを大事にし、誰もが自分らしく生きる価値観を持つ環境を作りたいです。柔軟に変化を受け入れ、以前との違いを楽しみ心を持って取り組んでまいります。

南筑後ブロック 古賀 大介

新型コロナウイルス感染症の影響で昨年は学校行事などが中止となり子どもたちがつらい日々を過ごしたと思えます。しかし昨年の教訓を生かし、ことごとく学校行事などを中止するのではなく、子どもたちが本場に必要としている物ごとを判断し、より良い学校生活が送れるよう、大切な思い出ができるように、より良い環境を作れるように努力したいと思います。

北筑後ブロック 野村賢太郎

教育・社会・生活環境が大きく変わり、先生や保護者同士が顔を合わせる機会が減っています。県Pの役員として単位PTAの課題解決や活動事例紹介など、情報の交換・共有の充実を図るため、皆さんのお知恵をお借りしながら取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願ひ致します。

福岡ブロック 佐藤 剛史

コロナ禍において、私たち大人が子どもに見せるべき背中には「やらない理由」より「やるための工夫」でしょう。来年1月8日(土)に開催予定の福岡ブロック研修大会では、ボクシング元世界チャンピオンの清水智信さんから、「人のために闘う」「負けから学ぶ」ことを皆で学びたいと考えています。

新・旧母親代表者会議開く

お母さんの視点を大切に.. 父親も参加しました



令和3年度の母親代表者の皆さん



星野美由紀副代表



松尾菜美子代表

福岡県PTA連合会(県P)の令和3年度の新・旧母親代表者会議は5月8日、福岡市博多区吉塚本町の県中小企業振興センターで開

「多様性が求められる時代、

学校保護者教師会▽みやま市PTA連合会・みやま市立山川中学校父母教師会▽遠賀郡PTA連合会・遠賀町立島門小学校PTA▽田川郡PTA連合会・福智町立赤池中学校父母教師会▽行橋市PTA連合会・行橋市立仲津中学校PTA

文、筑紫野南中・多賀谷敢▽糸島市▽前原中・中原理臣

金小・岩谷裕子、川崎中・宗吉弘行、大任中・團部奈緒美、香春中・藤本利枝▽田川市▽田川中・岡本慎司、後藤寺中・天野久▽飯塚市▽飯塚東小・原田智史、若菜小・後藤直晴、立岩小・赤間秀樹、飯塚第一中・新藤峰大、穂波東中・藤川祐介▽嘉麻市▽上山田小・小山田弘志、下山田小・桃崎英淳、熊ヶ畑小・大田竜司、山田中・松岡広樹

区▽宝城中・山田道夫

▽久留米市立浮島小学校父母教師会▽大川市立三又小学校父母教師会▽八女市立黒木小学校父母教師会▽みやま市立桜舞館小学校PTA▽福智町立赤池中学校父母教師会

かれ、新代表には松尾菜美子さん(糸島市立福吉小PTA)、副代表に星野美由紀さん(筑後市立松原小PTA)をそれぞれ選出しました。

会議には、県内の6ブロックから新旧の母親代表者が参加、松尾和昭・県P会長が「意見を出していたらPTAを活性化してくださ」とあいさつ。柳川

からお手伝いできればと考えています。PTAという出会いの場を、できる人ができることを子どもたちのために楽しくできたらいいなと思います」と抱負。星

野さんは「コロナ禍、せっかくいただいたチャンスを楽しみたい。お母さんたちが県Pの理事会に、もっと参加できるようにお手伝いしたい」と話しています。

川原未絵・県P副会長は父親の参加について「いろんな視点から考えていただけ機会。お母さんの視点も大切にしてほしい」とアドバイスしています。

▽筑紫野南中・多賀谷敢▽糸島市▽前原中・中原理臣

▽久留米市立浮島小学校父母教師会▽大川市立三又小学校父母教師会▽八女市立黒木小学校父母教師会▽みやま市立桜舞館小学校PTA▽福智町立赤池中学校父母教師会

県Pから感謝状を受けた団体

個人(単位PTA会長3年以上、区市郡P連会長又は母親代表2年以上で退任の方)

個人並びに団体

県Pから感謝状を受けた個人

委員の退任者

子

PTA活動への「ご尽力ありがとうございます」



スマートフォンやパソコンからも県P新聞を読んでみてください

福岡県PTA連合会(県P)のPTA新聞は、スマホやパソコンなどから県Pのホームページ「福岡県PTA連合会」へアクセスし、「PTA新聞」をクリックすると過去2年間分の紙面を閲覧することができます。新聞へのご意見もどしどしお寄せください。写真はホームページのトップ画面です。



福岡県PTA連合会(県P)の第29回広報紙コンクールは、コロナ禍でPTA活動が大幅な自粛が続いた中にもかかわらず小学校17校、中学校3校のPTAから応募があり、福岡県教育委員会賞には、筑紫野市立筑紫東小学校PTAの「ひがしの風」が選ばれました。

審査の基準は①PTA活動の実態が伝えられているか②企画力・アイデア③地域との連携感があるか④などでした。審査には、県教育庁社会教育課の船津涼・社会教育主事、西日本新聞社編集センターの瀬瀬留美デスクも加わって10人で進められました。惜しくも上位入賞を逃したPTAには、「コロナ禍にもかかわらず意欲的に編集・発行された努力が伝わってくる」などとして特別賞が贈られました。

上位入賞校には、広報紙づくりの取り組み、努力、創意工夫などについて寄稿していただきました。他の上位入賞校PTAは次の通りです。
 〈西日本新聞社賞〉大牟田市立大牟田中央小学校父母教師会「PTAちゅうわう」

〈県PTA連合会会長賞〉▽小学校Ⅱ宇美町立桜原小学校PTA「さくらばる」▽中学校Ⅱ飯塚市立飯塚第二中学校PTA「かがやけ」

〈優秀賞〉▽小学校Ⅱ糸島市立波多江小学校PTA「Waveはたえ」小郡市立のぞみが丘小学校PTA「のぞみ」、小竹町立小竹北小学校PTA「ひまわりっこ」▽中学校Ⅱ大牟田市立歴史中学校PTA「くぬぎ」、同田隈中学校父母教師会「たぐま」

努力と創意工夫重ねて 入賞PTA喜びの声

県教育委員会賞

筑紫野市立筑紫東小PTA 「ひがしの風」

今までに誰も経験したことのない1年でした。本来PTA活動を紹介する広報紙ですが、参観や懇談会を含む学校行事がほぼ中止の中、広報紙の発行を依頼されました。発行回数こそ少なくはありましたが、私たち委員は精神的にも大変だったと思います。

例年、学校行事をメインに作成されていた広報紙です。休校もありスタートは遅く、昨年同様の作り方はできません。そのような中で、本部の皆さんをはじめ先生方にも大変お世話になりました。特に主幹の安部宏樹先生からは、たくさんヒントをいただきました。半ば閉ざされてしまった形となった学校です。しかし行事はなくとも、毎日子どもたちの生活があるのです。「広報紙は一体誰のためにあるのだろうか?」それを考えてみると、方向性が見えた気がしました。特別なこととはしていません。ただただ、子どもたちの様子、地域で働く(子どもたちと過ごす)先生方のこと、それを保護者と子どもたちを含む地域の皆さんに知らせただけです。

(令和2年度広報委員・室伏恵美子)



西日本新聞社賞

大牟田中央小父母教師会 「PTAちゅうわう」

広報委員長として小学校生活最後に携わった広報紙が、県PTA広報紙コンクールで受賞できたことを大変うれしく思います。令和2年度は、コロナ禍や水害などで学校生活が一変し、広報紙の作成も通常通りにはできなくなっていました。それでも、考え方や視点を変え、先生方や子どもたちに協力してもらい、広報委員のみなさんと記事を作り上げ、学校に足を運べない保護者の皆さんに、学校の様子をお届けできるような紙面づくりを心がけました。

私たちの学校の校区では甚大な水害の被害がありました。この大変だったことをその時だけの記憶にせず、教訓として覚えておけるようにするにはどのようなしたらよいかを考え、取材を行い、保護者の方からの情報や地域の方から情報を集め協力してもらい、広報紙に掲載しました。また、「防災」についてとりあげ、PTA広報紙を読んで、少しでも防災意識を持つきっかけとしてもらえようと考えて制作しました。

(令和2年度広報委員長・草野 真由)



宇美町立桜原小PTA 「くぐりぼる」

小学校の部

PTA新聞でみんなの意識を変えたい。新聞の改革から5年目、地域のみなさんや先生方、本会役員を含む保護者から記事の素になるお話をいただくのが定着しました。コロナ禍で「ふれあい」や「交流」がタブー視される中、記事の素材に困ることがなかったのは幸いでした。活動制限されていても、取材は可能です。校舎内への立ち入りが難しい代わりに電話取材を行い、外の取材に向いたおかげで宇美町町制施行百周年記念イベントでは子どもたちの笑顔が撮れました。

先生方や子どもたちに、学校にまつわる100問の問題のヒントを出してもらって完成した「桜原小100問チャレンジ」。

学校行事だけで終わらせないPTA新聞への意識を高めるためには、子どもたちをはじめ、みなさんの声を聞くこと、学校との連携が欠かせません。

こんな状況だからこそ、新聞を読むだけでなく一緒に声を伝える参加型のPTA新聞が有効であり、今後もつくり続けたいと思います。

(令和2年度広報委員長・杉村ひとみ)

県PTA連合会会長賞

飯塚市立飯塚二中PTA 「かがやけ」

中学校の部

今回、コロナ禍で授業参観できなくなり、PTA活動はほとんどできなくなりました。本来、PTA活動を掲載する目的の新聞なので作成を断念していましたが、役員会より「ぜひ出して」と強い要望があり、当初の計画通り年3回の発行を決意しました。

委員さんたちと顔を合わせたのはたった2回だけ。主に、SNSを使って意見のやりとりをしました。シルクプロジェクトや「弁当の日」など、保護者が関わる学校の取り組みを探せば、記事の材料はその都度見つかりました。ネットを使ったアンケート回収にも挑戦しました。

正にそういう意味では、あきらめずにチャレンジすることを学んだ新聞づくりでした。

(令和2年度PTA教養委員長・渡邊 福)



県教育委員会賞「ひがしの風」

コロナ禍 学校・地域と向き合って

優秀賞 5校PTAに

糸島市立波多江小PTA「Waveはたえ」

コロナ禍で学校行事の多くは中止となり、広報の取材も制限される中、学校に写真撮影を依頼するなど、教職員との連携のもと、計3号を発行できました。校正作業はすべてオンライン上で実施しましたが、委員の

皆さんの協力を得てスムーズに実施できました。今後も柔軟な活動を通して、より魅力ある広報紙づくりを進めていきます。
(令和2年度広報委員長・三嶋 直子)

小郡市立のぞみが丘小PTA「のぞみ」

委員会活動自粛の中、元PTA役員有志4人で始めた広報委員会。打ち合わせは全てラインで行い、通常の行事がなかったので、役員経験を生かしていつもとは違った角度から取材しました。のぞみが丘小学校独

自の学校、地域、保護者のつながりを大切に、子どもたちを温かく見守る広報紙でありたいと思っております。
(令和2年度広報委員長・坪田 比紗子)

小竹町立小竹北小PTA「ひまわりっこ」

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中の編集作業で、学校消毒に協力していただいている地域の方の記事を載せたいというのが、広報委員みんなの一致した意見でした。自

宅での作業に不安もありましたが、皆さまに喜んでいただけたように心をこめて作りました。
(令和2年度広報委員長・山本 ゆかり)

大牟田市立田隈中父母教師会「たくま」

広報委員会は、歴代の伝統を守り、PとTの架け橋として、生徒間、親子間で楽しい話題のきっかけとなる広報紙作成を目指しています。載せたい記事が多く、活動報告、地域連携情報などのバランスに苦慮しま

した。令和2年度は、自粛で掲載写真の収集が困難でしたが、先生、委員、業者のみなさんのおかげで無事に広報紙が発行できました。
(令和2年度広報委員長・岡村淳子)

大牟田市立歴木中PTA「くぬぎ」

新型コロナウイルスの影響で委員会開催もままならず、LINEで連携を図り、写真はデータでやり取りをしました。制限ある学校生活でも、子どもたちは笑顔で着実に前へ進んでいました。なかなかその様子を見

る機会が少ない保護者や地域の方に取材が厳しい行事は学校のご協力も得て、より多くお伝えできる心がけました。
(令和2年度広報委員長・岩田 香織)



優秀賞の5校PTA広報紙



広報紙を読み込んで審査

意見を交わし、読む人の心を動かす紙面を

昨年度は全国一斉臨時休業校という状況からスタートしました。コロナ感染拡大防止のため、PTA活動においてもさまざまな活動の制約があり、各校PTA役員の方々の皆さまも、頭を悩ませ、

日々模索しながら活動に取り組まれた1年であったと思います。

そのような中においても、今回、小中学校合わせて20校の応募がありました。応募された広報紙には、思うように活動ができない中で学校の様子を届けたいという思いとさまざまな工夫を感じました。

筑紫東小学校PTAによる「ひがしの風」は、親子の「会話」をテーマに掲げ

てあり、人々の思いや息遣いまで伝わるような紙面でした。広報紙をきっかけに親子の会話を増やしたいという視点で、内容を吟味したり、写真を選定したりすることで、紙面に登場する子どもや先生方、保護者や地域の方々一人ひとりの輝きを感じられるものでした。

広報紙を発行するにあたり、まずテーマを明確にし、広報委員さんたちで意見を交わしながら作りたい紙面

のビジョンを共有することで、読む人の心を動かす紙面ができあがるように感じます。まだまだ活動が制限される状況が続きますが、各校でぜひ、読み手にどんなメッセージを伝えるのか、テーマの確認からはじめていただければと思います。

最後に、入賞された単位PTAの皆さま、おめでとうございます。入賞を逃した単位PTAの皆さまもぜひ次回のコンクールに応募していただき、広報紙を介した交流を図っていただければと思います。



福岡県教育庁 社会教育課 船津 涼 社会教育主事

講評

各校、素材選びに苦勞されたことが伺えました。

高評価を得た小学校部門の「さくらばる」PTA「ちゅうおう」「ひがしの風」、中学校部門の「かがやけ」は、いずれも独自の視点が反映されていました。「さくらばる」は始まったばかりのオンライン授業の特集や100問の出題、「PTA Aちゅうおう」は豪雨被災を教訓として、防災啓発を連載した「みんなの防災！」が時機を得ており、光り

ました。「ひがしの風」は、先生方への取材が細かく、レイアウトにも工夫されていました。

中学校部門の「かがやけ」は受賞常連校であり、「シルクプロジェクト」や「コロナ禍についてのアンケート」高校受験報告など、時機を得た企画や各号の紙面構成もしっかりしていました。

今までに培ったノウハウが、コロナ禍での厳しい紙面製作でも生きたのだと思います。

では「独自の視点」とは何でしょうか。

シンプルに「自分たちの学校、地域では」と置き換えて考え、作る事です。自分たちのことが素晴らしい、という「いいところ探し」をしてみてはいかがでしょうか。

初めは小さな記事から結構です。それが集まれば、きっと「わが校ならではの新聞になるはず」です。そして、「次も読みたい」と思われる新聞へとステップアップしましょう。楽しく、新聞を作っていただけることを期待しています。



西日本新聞編集センター 留美 西瀬 広瀬

学校・地域の「いろいろ探し」をして

(7)

PTA通信

筑豊



鍛えて、ほめて、表彰します
●桂川町立桂川中

桂川町には、小学校が二つ、中学校が一つあります。唯一の中学校である桂川中学校は、各クラス30人と落ち着いた雰囲気の中で、コロナにも負けず、明るく元気に過ごしています。

昨年の「新」家庭教育宣言実践報告会では、本校の取り組み「鍛えて、ほめて、表彰」学力・自尊感情を高めるために」というテーマでまとめ、その記録を皆さんへお届けしました。写真は、生徒に贈る、その取り組みの表彰式のもようです。

中学生になると、親子の会話も減ってしまい、コミュニケーションが取りにくいと

いう話をよく聞きます。そのような時期に、親子の関わりの一助として、学校、保護者、生徒をつなぐツールとして、学力向上にもつなげられたらということでも活動を始めて今年で3年目になります。

新型コロナウイルスにより、私たちPTAの活動も自粛、縮小されていく中でも、子どもたちの成長を見守り「できる時に、できる人が、できることをする」をモットーに、無理のないPTA活動を考え、実践していく新たなステージに入ったと実感するところです。

(桂川中PTA会長 畠中 聡子)

京築



あいさつ運動を継続して
●荊田町立与原小

荊田町立与原小学校は、児童数736人の大規模校です。本校は、学校・家庭・地域が連携し、あいさつ運動に継続して取り組んでいます。

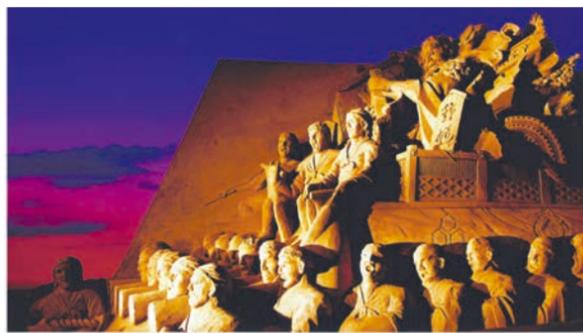
毎朝、地域の方々や校区の危険箇所子どもたちの登下校を見守ってくださり、「おはようございます。いこうっしょいっしょ。いっしょに帰ります」と、気持ちのよいあいさつが交わされています。子どもたちと地域の方々とのつながりが深まってきています。毎週木曜日には、児童会の子どもたちとPTA役員が校門であいさつ運動を行っています。PTA写真。また、PTA生活安全委員会が中

心となり、各地区の交差点などで保護者が交代で毎月2回のあいさつ運動を行っています。このような取り組みを通して、自分からあいさつをしたり、立ち止まって、ていねいなあいさつしたりする子どもたちも増えてきており、「継続は力なり」を実感しています。

昨年度の臨時休校で、あいさつを交わすことができる喜びや人とつながることの大切さを、改めて感じました。これからもあいさつ運動を通して、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの健やかな成長のために力を合わせて取り組んでいきます。

(与原小PTA会長 坪井 淳)

北九州



PTA活動からまちづくりへ
●芦屋町立芦屋中

芦屋中学校は、響灘を望む遠賀川の河口に位置する芦屋町のただ一つの中学校です。

PTA活動は、広報委員会、成人教育委員会、校外指導委員会、厚生委員会の4つの委員会がそれぞれの役割を果たし生徒たちの学校生活をサポートしています。

芦屋中学校PTAは、他にも地域と学校、さらに町と学校をつなぐ重要な役割も持ち合わせています。

芦屋町は、芦屋釜に代表される伝統的な文化や、三里松原に隣接する芦屋海岸などの自然があり、あしや砂像展Ⅱ写真Ⅱなど

一年を通して多くのイベントがあります。私たちPTAも、その実行委員として参加し、イベントを成功させるために真剣に取り組んでいます。

会議や準備など大変なこともあります。が、やはり、やり終えた時の感動や反省は、また参加したいと言う気持ちにさせてくれます。OBとなった先輩方も引き続き参加し町を活動づけています。

PTA活動がまちづくりへとつながり、子どもたちが自慢できるふるさとをつくることも目標の一つとして、私たち芦屋中学校PTAは活動しています。

(芦屋中PTA会長 小野 哲郎)

PTA役員研修会も配信 パソコン画面でも見る事ができました

福岡県PTA連合会(県P)の令和3年度PTA役員研修会は、コロナ禍で4月26日から5月9日まで、YouTubeでリモート配信されました。6つの分科会に分けて「PTA活動を楽しくやっていたら、くための学びを提供したい」との企画。PTAのリーダーとしての役割・心構えからケータイ・スマホ問題への対応の仕方まで幅広い内容。学校保護者がコミュニケーションを密に子どもたちのために課題を出し合いPTAを楽しい出合いの場にしていく実践報告などが盛り込まれ「コロナ禍のPTA活動に役立つ」などの声が寄せられました。アクセス数は2082でした。アンケートへの回答も213件に達しました。各分科会のテーマは次の通りです(カッコ内は講師)。

- ▽特別分科会Ⅱ「スマホ等のトラブル未然防止のためにPTAができること」(県P安全・調査委員会)
- ▽第1分科会Ⅱ「PTAの運営について」(永原譲太郎・県P前会長)
- ▽第2分科会Ⅱ「家庭教育、できることから始めてみよう」(大賀直・県立社会教育総合センター社会教育主事)
- ▽第3分科会Ⅱ「学校を支えるPTA」(岩崎光・久留米市立南小学校PTA会長ほか)
- ▽第4分科会Ⅱ「どうせなら楽しくやろうPTA」(山元彪ノ介・芦屋町立芦屋中学校PTA元会長)
- ▽第5分科会Ⅱ「人と人とのつながり」(久家直子・県P元副会長)

福岡県PTA連合会 PTA活動災害保障制度のお知らせ
安心してPTA活動を行って頂くために

「PTA活動災害保障制度」をおすすめします。

(PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険・受託者賠償責任保険)

※保障制度の詳細については、制度取扱代理店にお問合せください。

- 制度に関するお問合せ先：制度取扱代理店 株式会社コーリン (福岡県PTA連合会保障制度事務局)
TEL: 0120-228-553 (受付時間：平日午前9時～午後5時 土・日・祝日、年末年始を除く)
- 制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社

2021年7月現在の内容です。



山際千津枝の

食べるといいです

>104<

コロナ禍で外出が減って子どもたちと一緒に過ごす時間が増えたとしたらそれは家族と一緒に台所に立つ絶好のチャンスです。

私は若い頃、忙しすぎて子どもが台所に入ってくるのが嫌でした。足手まといになって。いつもより料理にずっと時間がかかるから。悪い母親ですね。気持ちの余裕がなかったのです。

料理に興味を持たせる。料理を覚える。それも、もちろんですが、もっと大切なことは子どもたちに「台所は危険がいっぱいだ」と知ってもらいたいのです。

いろんな種類の刃物、沸騰したお湯、それ以上に高温になる油、電子レンジの取り扱い。安全な付き合い方を覚えるのは実践しありません。

経験がないと油が怖いから材料を遠くから投げ込む。危ないですね。落ち着いてそのと表面に近いところから落とすことを教えましょう、きつと一度で覚えてくれますよ。

茹で物をした熱いお湯をシンクに流すときは「熱いものが行きますよー」と、声をかけて流しから少し離れてもらいます。手を出さないようにしっかりと聞いて聞かせてください。手伝いたいと思ってザルを押さえるようにするのが人間の心理ですから。複数で台所に立つときには声を掛け合うのがルールで

台所は危険がいっぱい

マンガスの独り言

包丁を使った後は手から離さず、すぐに洗って安全な場所に置きます。汚れた調理器具の入っている洗い桶に入れるなんて一番してはいけないことです。包丁を置く場所は決めておきましょう。刃先を決して人のいる方向に向けられないようにするのはマナーでもあります。

電子レンジで牛乳を温めていてレンジのドアを開けたら全部噴きこぼれていたという経験はありませんか。これは突沸という現象です。液体は100度を超えると沸騰するのですが、条件によって沸騰しないことがあるのです。これを過加熱と言います。振動や塩や砂糖を加えるなどの小さな衝撃が加わるだけで突然激しく沸騰して中身が飛び出します。

牛乳や豆乳やカレーなどのトロミがあるものは少し大きめの余裕のある入れ物に入れて短めにタイマーをかけます。時間は経験者がアドバイスしてあげてください。お鍋の中でも同じ現象が起るのでお鍋も余裕のある大きさをしましょう。シチューなどは少し弱めの火加減で時々混ぜながら温めます。

少し脅かすすぎたかもしれません。台所で安全に作業すること、注意深く動くことは生活のあらゆる場面で役にたつと思います。

科学館発
夢特急
福岡県青少年科学館
特集

この記事に関するお問い合わせは福岡県青少年科学館(久留米市東櫛原町1713)へ
TEL 0942-37-5566
FAX 37-3770

夏休みに星空観察をしようと思うのですが、何か注目の天文現象はありますか？
先生 流星を観察してみてはどうですか？

流星って何ですか？
先生 流星とは流れ星のことです。流れ星は夜空にスッと光の線をひいて、一瞬のうちに消えてしまします。昔から流れ星が流れると、その願いがかなうという言い伝えがありますよね。流星は、宇宙空間にある0.1ミリの数センチ程度の大きさのちりが地球の大气に飛び込んで、大気との摩擦で熱くなり光ったものです。流星が光りだすのは地上から100kmあたりの高さで、70kmくらいの高さまで落ちてくる間に、ほとんどが燃え尽きてしまします。

流星はいつ流れていきますか？
先生 流星は毎日流れていますが、流星の数が少ないので普段はあまり見つけることができません。しかし、毎年決まった時期にた

たぐくこの流れ星を観察しよう！

皆さんの流星が出現するころがあり、その時期であれば流星を見ることが出来ます。このたぐくこの流星の集まりを流星群と言います。流星群は、空のある一点か

から四方八方に飛び出すように見えます。この点を放射点と言います。放射点がある位置の星座の名前をとって〇〇座流星群と呼びます。夏休みに観察できるものは、放射点がペルセウス座付近にあるのでペルセウス座流星群と言います。

ペルセウス座流星群は、いつ観察できますか？
先生 今年、観察に適しているのは8月12日の夜中



建物のない広い場所で観察するようにしましょう。また、暗いところに目が慣れていないと見られる流星数が減ってしまします。暗いところで15分程度目を慣らして、安全に注意しながらお家の人と一緒に観察してください。

空のどの方向を見ればいいですか？
先生 8月13日午前4時ごろ、ペルセウス座は頭の真上付近に見えます。放射点はペルセウス座付近なので、写真のような星空が観察できるはずですが、ただし、流星群は放射点付近だけでなく空全体に現れます。なるべく空の広い範囲を見渡すようにしましょう。

夏休み以外にも流星群を見ることが出来ますか？
先生 はい、できます。流星群は一年間にいくつもありますが、その中でも毎年多くの流星が出現する流星群は三大流星群と呼ばれています。三大流星群はしぶんぎ座流星群(12月下旬〜1月上旬)、ふたご座流星群(12月上旬〜12月中旬)とペルセウス座流星群の3つです。流星群が見られる日に合わせて夜空を見上げれば、たぐくこの流星を観察することが出来ます。

広報委員のひとりごと

県Pの広報委員長になって良かったなと思ってる。県Pのことがよくわかったし、何より新聞つくりの考えが180度変わった。型にはまった形式ではなく「面白いな、これいいな！」を載せたり、必要性のあるタイムリーな話題を提供する！難しく考えないで、シンプルに好きなようにやるのが一番だとわかった。会長より、そっちをしたい。とはいえずうは易く行は難し、これまでなら「やっぱ無理」ってなっていたところも、1年間頑張ってる人を、たくさん見てきたので、自分もやってみよう！って気持ちだ。今は笑。(S)